

平成22年産水稲の8月15日現在における作柄概況

— 早期栽培の10a当たり収量は430kgの見込み —



【調査結果の概要】

鹿児島県における水稲の8月15日現在の作柄については、早期栽培の10a当たり収量は430kgが見込まれ、普通栽培では生育が「やや不良」となっています。

【解説】

1 早期栽培

全もみ数は、1穂当たりもみ数は平年並みに確保されたものの、穂数がやや少なかったことから、総じてやや少なくなりました。

登熟は、出穂期以降、曇雨天で経過したものの、7月中旬以降おおむね天候に恵まれたこと、全もみ数がやや少なかったことによる補償作用から、やや良となりました。

被害は、台風の襲来もなく、いもち病、紋枯れ病等の発生は少ないものの、初期生育期の低温や日照不足、一部地域でカメムシの吸汁加害が見られ、平年に比べやや多くなりました。

このようなことから、8月15日現在の10a当たり収量は430kgが見込まれます。

2 普通栽培

田植最盛期は、田植期の降雨により、平年に比べ1日遅い6月21日となりました。

生育は、田植後、日照不足で経過したことから初期生育は緩慢となり、草丈は地域でバラツキはあるものの平年並みとなり、茎数はやや少なく、総じてやや不良となりました。

被害は、初期生育期の日照不足やスクミリンゴガイによる食害、コブノメイガ等の被害が散見され、総じてやや多くなっています。

このようなことから、8月15日現在の生育は「やや不良」となっています。

平成22年産水稲早期栽培の10a当たり（予想）収量

区 分	10 a 当たり (予想)収量 ①	10 a 当たり 平年収量 ②	(参 考)		
			予想収穫量 ③=①×④	1)作付面積 (子実用、見込み) ④	作 況 指 数 ⑤=①/②
県 計	430 ^{kg}	439 ^{kg}	25 200 ^t	5 870 ^{ha}	98
薩 摩 半 島	433	440	…	…	98
大 隅 半 島	442	449	…	…	98
熊 毛 ・ 大 島	402	412	…	…	98

注：1 1)の作付面積（子実用、見込み）については、関係機関等からの情報収集により把握した現時点での見込みの面積（参考値）であり、今後変わる可能性があります。

2 鹿児島県における早期栽培の水稲合計値に対する作付面積シェアは、平成21年産で23%となっています。

この資料は、九州農政局ホームページ鹿児島農政事務所サイトの「統計情報（鹿児島県）」でもご覧いただけます。
【「鹿児島農政事務所」（<http://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/>）】

【統計表】

1 早期栽培の刈り取り状況（8月15日現在）

区 分	刈 取 り 期					刈取済面積割合 %	対 平 年 差
	始 期	最 盛 期	終 期	最 盛 期 の 比 較			
				対 平 年	対 前 年		
月 日	月 日	月 日	日	日			
県 平 均	7. 31	8. 6	...	3	3	90	△ 5
薩 摩 半 島	7. 31	8. 7	8. 13	3	3	98	△ 1
大 隅 半 島	8. 2	8. 7	...	3	3	88	△ 6
熊 毛 ・ 大 島	7. 23	7. 28	8. 5	5	5	100	0

注：1 刈取り期の始期、最盛期、終期とは、刈取り済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日です。
 2 最盛期の比較欄の「△」は、平年又は前年より早いことを示します。
 3 刈取済面積割合欄の「△」は、平年より少ないことを示します。

2 早期栽培の作柄概況（8月15日現在）

	穂 数 の 多 少	1 穂 当 た り の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否
県 平 均	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
薩 摩 半 島	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
大 隅 半 島	少 な い	や や 少 な い	少 な い	良
熊 毛 ・ 大 島	や や 少 な い	や や 多 い	平 年 並 み	や や 不 良

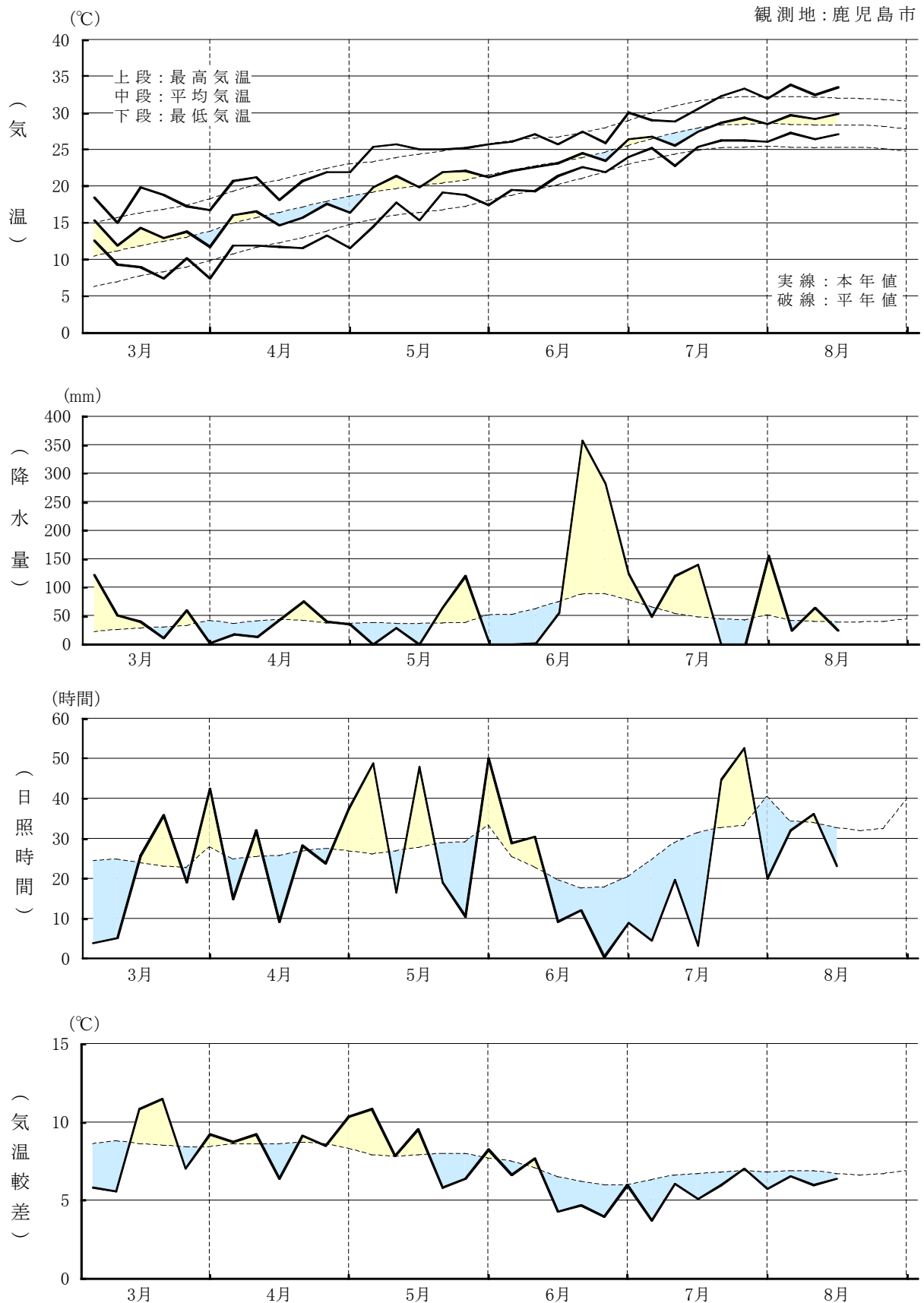
3 普通栽培の生育状況（8月15日現在）

	田 植 期					生 育 の 良 否	草 丈 の 長 短	茎 数 の 多 少
	始 期	最 盛 期	終 期	最 盛 期 の 比 較				
				対 平 年	対 前 年			
月 日	月 日	月 日	日	日				
県 平 均	6. 12	6. 21	7. 1	1	1	やや不良	平年並み	やや少ない
薩 摩 半 島	6. 13	6. 22	6. 29	1	0	やや不良	やや短い	少 な い
出 水 薩 摩	6. 15	6. 22	7. 4	1	1	やや不良	平年並み	や や 少 な い
伊 佐 始 良	6. 9	6. 18	6. 30	0	0	平年並み	やや長い	や や 少 な い
大 隅 半 島	6. 9	6. 19	6. 26	2	1	やや不良	平年並み	少 な い

注：1 田植期の始期、最盛期、終期とは、田植え済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日です。
 2 最盛期の比較欄の「△」は、前年より早いことを示します。
 3 生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況及び一部のほ場における計測可能な穂数、もみ数等の計測結果等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではありません。

【参考】

平成22年産水稻生育期間における鹿児島市の気象



資料：鹿児島地方気象台「アメダス気象データ」

【調査の仕様】

1 本調査は、作物統計調査の水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の生育作柄概況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農林水産行政推進のための基礎資料とすることを目的としています。

2 本速報で用いた地帯区分は、次のとおりです。

薩摩半島 — 鹿児島市、枕崎市、指宿市、日置市、いちき串木野市
南さつま市、南九州市、鹿児島郡

出水薩摩 — 阿久根市、出水市、薩摩川内市、薩摩郡、出水郡

伊佐始良 — 霧島市、伊佐市、始良市、始良郡

大隅半島 — 鹿屋市、垂水市、曾於市、志布志市、曾於郡、肝属郡

熊毛・大島 — 西之表市、奄美市、熊毛郡、大島郡

3 用語の説明

○ 「穂数の多少」は、1㎡当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

○ 「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべての粒の平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

○ 「全もみ数の多少」は、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。

○ 「登熟の良否」は、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

多 少 (良否)	少 な い (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

○ 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

4 早期栽培の地帯別作柄概況及び普通栽培の地帯別生育状況は、主要作付地帯(1,000ha以上)を掲載しています。

5 利用上の注意

(1) 本調査(8月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行っています。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。

(2) 統計表に使用した「…」は、事実不詳又は調査を行っていないものです。

【関連リンク】

農林水産政策関連ページ <http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

食料政策関係ページ <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/>

農業生産振興関係ページ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部
生産流通消費統計課 生産流通消費統計係

電話：(直通) 099(222)7546

FAX： 099(224)1501

◎農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局鹿児島農政事務所統計部
統計企画課 企画・分析係

電話：(直通) 099(222)7538

FAX： 099(224)1501